

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
16時43分19秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001020000	警防救急室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00797	警備活動事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	01	安全なまちづくり			
細節	30	消防			
予算事業	10767	01	09	01 01 03 02 01	警備活動事業（常備消防費）
所属長	廣田 哲也		担当者（内線）森田 友樹（7-127）		
根拠法令等	消防法、消防組織法、水道法				
事業開始年度	昭和23年度	直近の改正	なし		
改正内容	なし				
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	市民の生命、身体及び財産		
目標	火災・地震の災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減する。		
結果	消防業務を総合的に強化・充実させることができ、安心・安全な市民生活に寄与する。		
事業概要	消防活動に必要な資格の取得、訓練及び研修、水道法等に基づく消火栓整備における費用負担等。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	自動車教習所
		委託先②	小型船舶免許教習所
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	中型・大型免許、船舶免許等の取得
		交付先①	水道部（消火栓新設・修繕等）
交付先②		各種大会・研修出席、資格取得講習等	
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	49,916	41,719	30,518	30,866	44,625
人件費職員数(人)	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,225,500	1,185,000	1,207,800	1,207,800	1,191,750
総事業費(A+B)	1,275,416	1,226,719	1,238,318	1,238,666	1,236,375
特定財源(C)	0	3,656	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	3,656	0	0	0
市負担(D)	1,275,416	1,223,063	1,238,318	1,238,666	1,236,375
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,275,416	1,223,063	1,238,318	1,238,666	1,236,375
財源計(C+D)	1,275,416	1,226,719	1,238,318	1,238,666	1,236,375

所属	警防救急室
事務事業番号	00797

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	大型消防自動車の運用に係る大型自動車免許の所持者数（H30より大型中型実働免許所持者数に変更）	人	目標値	158.00	158.00	112.00
			実績値	158.00	166.00	
			達成度(%)	100.00	105.10	
目標値の積算方法	現状の大型消防車両の出場体制を維持できる人数（H30より大型中型自動車実働免許所持者数に変更）	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7,764.04	7,461.84	
			一般財源(千円)	7,740.91	7,461.84	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	消火栓新設及び布設替え数	基	目標値	93.00	46.00	80.00
			実績値	78.00	51.00	
			達成度(%)	83.90	110.90	
目標値の積算方法	水道部と調整した年度計画数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	15,727.17	24,287.57	
			一般財源(千円)	15,680.29	24,287.57	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示するのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 消防業務を総合的に強化・充実させることができ、安心・安全な市民生活に寄与する。	達成状況 数値で把握することは困難であるが、災害被害の軽減に努めている。

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>複雑・多様化する災害に対しの確に対応するため、消防活動の技術向上を図る訓練・研修等の派遣や消火活動に必要な消火栓の適正な配置等に係わる事業である。事業費にあっては車両免許改正により消防活動に必要な車両免許資格派遣に対し見直しを検討する必要がある。隊員に消防活動に必要な資格、高度な知識及び技術を習得させることにより組織全体の災害防御能力の向上させ災害による被害の軽減に努め、市民に対し高いレベルの安心・安全を常に提供し続ける必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	警備活動事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00797				

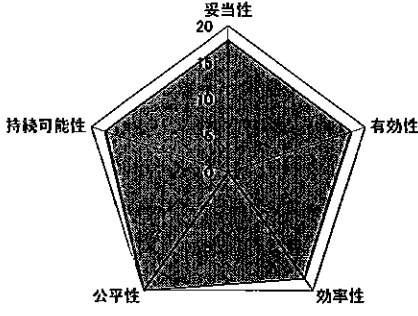
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	警防救急室	事務事業番号	00797
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>当該事業は、多種多様な災害対応に向けた訓練・研修等により、職員の知識と技術向上を図ることを目的とし限られた財源で進め、通常訓練においても若年職員への伝承を併せて実施している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
16時44分12秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001020000	警防救急室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00798	消防車両整備事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	30	消防							
予算事業	10768	01	09	01	01	03	02	02	消防車両整備事業（常備消防費）
所属長	廣田 哲也			担当者（内線）上田 英憲（7-177）					
根拠法令等	消防法、消防組織法、消防力の整備指針、梯子自動車の安全指針、道路運送車両法等								
事業開始年度	昭和23年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	消防車両、救急車両		
目標	車両の点検、整備、修繕の実施等、良好な維持管理		
結果	消防車両及び資機材を良好に維持管理することにより、常に適正な消防力を維持する。		
事業概要	消防車両の継続検査（車検）、法定点検（6か月点検・12か月点検など）の他、はしご自動車のオーバーホール（分解整備）や、その他、修繕の実施。また、自動車重量税や保険料も含まれる。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	自動車修理工場、民間車検場等
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	車両継続検査、法定点検
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	49,141	52,246	18,892	20,067	52,761
人件費職員数(人)	3.00	3.00	3.00	3.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	24,510	23,700	24,156	24,156	15,890
総事業費(A+B)	73,651	75,946	43,048	44,223	68,651
特定財源(C)	0	506	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	506	0	0	0
市負担(D)	73,651	75,440	43,048	44,223	68,651
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	73,651	75,440	43,048	44,223	68,651
財源計(C+D)	73,651	75,946	43,048	44,223	68,651

所属	警防救急室
事務事業番号	00798

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	消防力を維持するための車両管理	回	目標値	149.00	140.00	144.00
			実績値	149.00	140.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	法令等に基づく検査、点検等の実施回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	509.70	315.88	
			一般財源(千円)	506.31	315.88	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	点検整備の実施	台	目標値	85.00	86.00	87.00
			実績値	85.00	86.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	消防活動等における不具合が発生しなかった台数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	893.48	514.22	
			一般財源(千円)	887.53	514.22	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	法令や指針等に定められた点検整備を計画的に実施しており、事業費は妥当である。不具合箇所の修繕等を行い消防・救急車両及び資機材を良好な状態で維持管理することで、迅速な対応を求められる消防業務に支障をきたすことなく、常に適切な消防力を維持できるため、本事業は継続的に推進していく必要がある。

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	消防車両整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00798				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		評価点合計 (100点満点)	92	- ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	警防救急室	事務事業番号	00798
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

消防車両の故障等は、人命危険の可能性が高く厳しい財政状況において整備を実施しており、今後も安全を確保するため実施する必要がある。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	消防車両更新事業と連携し、コストの効率性を高めている。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
16時44分37秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001020000	警防救急室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00799	消防装備品整備事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	30	消防							
予算事業	10769	01	09	01	01	03	02	03	消防装備品整備事業（常備消防費）
所属長	廣田 哲也			担当者（内線）森田 友樹（7-127）					
根拠法令等	消防法、消防力の整備指針								
事業開始年度	昭和23年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	消防用ホースや防火衣等の消防活動に必要な消防装備品		
目標	地域特性や時代に合った消防装備品を総合的に整備し、適切に更新を図る。		
結果	消防装備品の充実・強化及び更新 消防力の維持・強化		
事業概要	複雑多様化する各種の災害に対し、迅速で適切な消防活動を遂行するため、消防装備品の充実・強化及び適切な更新を図るとともに、安全なまちづくりに貢献させる。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	□ 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
■ その他	内容	大阪国際空港周辺対策基金助成あり	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	10,923	10,893	11,965	11,719	11,936
人件費職員数(人)	3.00	3.00	3.00	3.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	24,510	23,700	24,156	24,156	15,890
総事業費(A+B)	35,433	34,593	36,121	35,875	27,826
特定財源(C)	205	324	200	200	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	205	324	200	200	0
市負担(D)	35,228	34,269	35,921	35,675	27,826
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	35,228	34,269	35,921	35,675	27,826
財源計(C+D)	35,433	34,593	36,121	35,875	27,826

所属	警防救急室
事務事業番号	00799

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	消防装備品の購入額	円	目標値	10,923.00	11,965.00	11,936.00
			実績値	10,852.00	11,719.00	
			達成度(%)	99.30	97.90	
目標値の積算方法	消防装備品の予算額	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.19	3.06	
			一般財源(千円)	3.16	3.04	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	<p>装備品に不備なく消防活動が実施できるよう整備を図る。</p> <p>達成状況 経年使用により劣化している装備品が見受けられる。</p>

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	■ 拡充 □ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	<p>装備品に不備がなく適切で確実な消防活動が実施できるよう必要な整備及び更新を図るため事業費は妥当であり継続的に推進していく必要がある。新規装備品として情報収集能力向上のためドローンの導入を検討し災害時に確実に活用できるよう整備を図っていく。</p>

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	消防装備品整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00799				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
②サービスの水準は適正ですか。			
※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
③適正な受益者負担を求めていますか。			
※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	95	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	警防救急室	事務事業番号	00799
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>計画どおり進んでいない装備品も存在する。必要な装備品を充足させることにより、消防力の維持が可能となる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
16時45分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001020000	警防救急室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00803	救急活動事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	30	消防							
予算事業	10774	01	09	01	01	03	04	01	救急活動事業（常備消防費）
所属長	廣田 哲也				担当者（内線）長嶺 秀則（7147）				
根拠法令等	消防組織法、消防法、消防力の整備指針、救急救命士法、救急業務実施基準								
事業開始年度	昭和36年度	直近の改正	平成26年度						
改正内容	消防力の整備指針（救急自動車の台数、救急隊員数の算定）								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	吹田市内の全ての人		
目標	救急車を必要とする傷病者の救命、症状の悪化軽減を図る。		
結果	質の高いサービスの提供により安心、安全な市民生活に寄与する。		
事業概要	救急現場から通報を受けて現場へ出動し、救急現場到着後、迅速かつ的確に傷病者の症状を観察し、医療機関との密接な連携の上で、救命処置を施しながら、傷病者の症状に適応した医療機関へ搬送する活動を担っている。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,191	5,160	5,395	5,558	9,150
人件費職員数(人)	60.00	60.00	70.00	70.00	80.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	490,200	474,000	563,640	563,640	635,600
総事業費(A+B)	494,391	479,160	569,035	569,198	644,750
特定財源(C)	0	3,766	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	3,766	0	0	0
市負担(D)	494,391	475,394	569,035	569,198	644,750
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	494,391	475,394	569,035	569,198	644,750
財源計(C+D)	494,391	479,160	569,035	569,198	644,750

所属	警防救急室
事務事業番号	00803

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	救急出動件数	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	18,306.00	18,653.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	1年間の救急出動件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	26.18	30.52	
			一般財源(千円)	25.97	30.52	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	救命率(心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1か月後の生存者率)	%	目標値	16.00	16.00	16.00
			実績値	25.90	20.60	
			達成度(%)	161.90	128.80	
目標値の積算方法	過去大阪府の救命率最高値を参考として積算	単位当たりコスト	総事業費(千円)	18,500.39	27,630.97	
			一般財源(千円)	18,354.98	27,630.97	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>事業費は、救急件数の増加、救急救命士の処置の拡大などにより医薬材料費の増加が見込まれるが、質の高いサービスの提供により安心・安全なまちづくりに寄与するため適切である。</p> <p>成果指標達成度は128.8%と達成されているのを踏まえると、事業成果は現状で妥当である。今後も質の高いサービスの提供を継続する必要がある。</p> <p>救急隊員への器材コスト意識の向上、安価な器材への切換え等で歳出の増加を少しでも軽減できるように努力していく必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	救急活動事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00803				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
②サービスの水準は適正ですか。			
内部管理	点		
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	95	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	警防救急室	事務事業番号	00803
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>救急隊の増加、救急件数の増加、災害用救急資器材の更新などにより、若干の事業費の増大はあるが、出来るだけコスト削減をしてお対応していく。 これからも、救急車の適正利用の広報を進める必要がある。 市民の安心安全のため、より一層の質の向上を図る必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
16時46分00秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001020000	警防救急室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00804	救急救命士資格取得推進事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	30	消防							
予算事業	10775	01	09	01	01	03	04	02	救急救命士資格取得推進事業（常備消防費）
所属長	廣田 哲也				担当者（内線）長嶺 秀則（7147）				
根拠法令等	救急救命士法（平成3年4月23日法律第36号）								
事業開始年度	平成3年度	直近の改正	平成25年度						
改正内容	救急救命士の行う処置範囲の拡大があり、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与が追加となった。								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他			
対象	資格取得後の救急救命士及び就業前救急救命士。			
目標	救急救命士の知識・技術向上。			
結果	傷病者の救命率の向上、病状悪化軽減に繋げる。			
事業概要	資格取得後救急救命士の再教育のための病院研修、就業前救急救命士病院研修（国家試験合格後、救急車乗務前の必須研修）、救急救命士の行う救命処置に伴う賠償責任保険。救急救命士の処置範囲拡大に伴う知識・技術の向上、医療機関との連携体制の確立、重度傷病者の救命率向上を図る。			
実施方法	■ 直接実施			
	■ 委託又は一部委託	委託先①	沖縄徳洲会吹田徳洲会病院	
		委託先②		
		委託先③		
	■ 補助金・負担金		主な委託内容	救急救命士免許申請に係る健康診断業務
			交付先①	済生会千里病院
		交付先②		
		交付先③		
□ その他	内容			

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,276	1,194	9,147	8,967	9,833
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	17,616	16,994	25,251	25,071	25,723
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	17,616	16,994	25,251	25,071	25,723
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	17,616	16,994	25,251	25,071	25,723
財源計(C+D)	17,616	16,994	25,251	25,071	25,723

所属	警防救急室
事務事業番号	00804

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	救急出場件数	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	18,306.00	18,653.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	1年間の救急出場件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.93	1.34	
			一般財源(千円)	0.93	1.34	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	救命率(心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1か月後の生存者率)	%	目標値	16.00	16.00	0.00
			実績値	25.90	20.60	
			達成度(%)	161.90	128.80	
目標値の積算方法	過去大阪府の救命率最高値を参考として積算	単位当たりコスト	総事業費(千円)	656.14	1,217.04	
			一般財源(千円)	656.14	1,217.04	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>事業費は、傷病者の救命率の向上、病状悪化軽減に繋げるため、新しい救急救命士の養成、現在の運用救急救命士の再教育を継続し行い、知識・技術の向上、医療機関との連携体制の確立を図る必要があるため、適切である。</p> <p>今後は、指導救命士の養成、救急救命士の処置範囲拡大に伴う資質の向上、救急隊増隊に伴い、救急救命士の資格取得者の増加が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	救急救命士資格取得推進事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00804				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	95	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	警防救急室	事務事業番号	00804
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>救急隊には救急救命士1名以上の運用が必要であり、運用救急救命士には知識・技術の向上のため、病院研修は必須である。引き続き、救急隊増隊(平成28年度及び平成29年度)に伴う救急救命士の資格取得の増加が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時02分36秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001020000	警防救急室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00805	高規格救急自動車等資器材整備事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	01	安全なまちづくり			
細節	30	消防			
予算事業	10776	01	09	01 01 03 04 03	高規格救急自動車等資器材整備事業（常備消防費）
所属長	廣田 哲也		担当者（内線）長嶺 秀則（7147）		
根拠法令等	救急救命士法（平成3年4月23日法律第36号）、救急業務実施基準、消防力の整備指針				
事業開始年度	平成3年度	直近の改正	平成26年度		
改正内容	消防力の整備指針（救急車の台数、救急隊員数の算定）				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	救急車及び救急関連資器材。		
目標	高規格救急車積載資器材及び救急訓練用資器材の充実。		
結果	救急資器材等の整備による救命率の向上。		
事業概要	高規格救急車積載資器材の整備を進め、救急業務の強化を図る。救急救命士の行う救急救命処置の範囲が拡大（平成16年・気管挿管、平成18年・薬剤投与、平成23年度・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管、平成25年度心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与）され、救命処置の技術向上のため、訓練用資器材の整備、更新が必要。モバイル・テレメディシン・システムの運用の継続。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,472	2,366	2,514	2,513	2,770
人件費職員数(人)	4.00	4.00	4.00	4.00	3.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	32,680	31,600	32,208	32,208	23,835
総事業費(A+B)	35,152	33,966	34,722	34,721	26,605
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	35,152	33,966	34,722	34,721	26,605
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	35,152	33,966	34,722	34,721	26,605
財源計(C+D)	35,152	33,966	34,722	34,721	26,605

所属	警防救急室
事務事業番号	00805

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	救急出動件数	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	18,306.00	18,653.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	1年間の救急出動件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.86	1.86	
			一般財源(千円)	1.86	1.86	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	救命率(心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1か月後の生存者率)	%	目標値	16.00	16.00	0.00
			実績値	25.90	20.60	
			達成度(%)	161.90	128.80	
目標値の積算方法	過去大阪府の救命率最高値を参考として積算	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,311.43	1,685.49	
			一般財源(千円)	1,311.43	1,685.49	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	救急業務は、市民の生命・身体を事故や災害から守り、安心安全な生活を確保するものであり、市民にとって必要不可欠な行政サービスとして定着している。事業費は、高規格救急車積載資器材の整備を進め、救急業務の強化を図る必要があり、適切である。 今後はさらに救急資器材の整備、更新を進め、救命処置の向上を図ることにより、傷病者の救命率の向上及び予後の改善に繋げる必要がある。

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	高規格救急自動車等資器材整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00805				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	警防救急室	事務事業番号	00805
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高規格救急自動車の整備を進め、救急体制の強化を図ることにより、傷病者の救命率及び予後の改善等の向上が期待され、市民にとって必要不可欠な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時03分29秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001020000	警防救急室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00806	応急手当普及啓発事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	01	安全なまちづくり		
細節	30	消防		
予算事業	10777	01	09	01 01 03 04 04 応急手当普及啓発事業（常備消防費）
所属長	廣田 哲也		担当者（内線）下川 健次（73581）	
根拠法令等	応急手当普及啓発活動実施要綱（平成5年3月30日消防救第41号都道府県知事あて消防庁次長）			
事業開始年度	平成6年度	直近の改正	平成23年度	
改正内容	応急手当の普及活動の推進に関する実施要綱の一部改正（救命入門コース、e-ラーニングの追加等）			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市在住者及び在勤者または在学者。救命入門コースは10歳から受講可能。		
目標	応急手当に関する正しい知識と技術を習得してもらう。		
結果	市民による自主救護能力の向上及び救急事故現場での救命のリレーにより救命率の向上に繋がっている。		
事業概要	市民対象に応急手当普及啓発活動実施要綱に基づいた、普通救命講習等を開催し、応急手当に関する指導を行う。講習にあたり、応急手当普及員が講習を行う場合には、必要に応じて署員を派遣し立ち会うことにより、指導内容の確認を行う。所定の講習を修了した者に対して、普通救命講習修了証（3時間）、上級救命講習修了証（8時間）、応急手当普及員認定証（24時間）を交付している。また、救命入門コース（90分）を設定し、参加証を交付する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,458	1,265	1,680	1,500	1,688
人件費職員数(人)	4.00	3.00	7.00	7.00	7.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	32,680	23,700	56,364	56,364	55,615
総事業費(A+B)	34,138	24,965	58,044	57,864	57,303
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	34,138	24,965	58,044	57,864	57,303
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	34,138	24,965	58,044	57,864	57,303
財源計(C+D)	34,138	24,965	58,044	57,864	57,303

所属	警防救急室
事務事業番号	00806

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	応急手当普及啓発事業受講者数	人	目標値	5,000.00	5,000.00	10,000.00
			実績値	9,352.00	10,123.00	
			達成度(%)	187.00	202.50	
目標値の積算方法	吹田市生産年齢人口の20%を10年間の応急手当技能取得者の目標値とし、その10分の1(5,000人)を年間受講者数の目標	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.67	5.72	
			一般財源(千円)	2.67	5.72	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	心肺蘇生処置を実施しなければならない傷病者の一般市民による応急手当(心肺蘇生法)実施率	%	目標値	48.00	48.00	48.00
			実績値	53.40	48.00	
			達成度(%)	111.30	100.00	
目標値の積算方法	ウツタイン統計における実施率	単位当たりコスト	総事業費(千円)	467.51	1,205.50	
			一般財源(千円)	467.51	1,205.50	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	救命率の向上のためには、救急隊が到着するまでに、その場に居合わせた市民が適切な応急手当を実施する必要がある。応急手当に関する市民の関心やニーズの高まりが年々増加しているため、事業費は適切である。応急手当普及啓発事業受講者数は増加しており、今後も市民に対しての応急手当に関する正しい知識と技術の普及が必要である。 今後の方向性は、救命率の向上のため、更なる普及啓発活動の拡充が必要である。なお、平成30年度から施策に係る成果指標の普通救命講習会等受講者数を10年間で、生産年齢人口の40%(10万人)に対しAEDを含む普通救命講習などを実施し1年度当たり1万人を目標とする指標へ変更する。

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	応急手当普及啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00806				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	警防救急室	事務事業番号	00806
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>応急手当普及啓発活動は目標通り進めている。市民による応急手当の実施率も向上しており、市民の関心やニーズの高まりも見られる。救命率の向上には更なる普及啓発活動の拡充が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時03分55秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001020000	警防救急室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00807	救急業務体制整備事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	01	安全なまちづくり			
細節	30	消防			
予算事業	10778	01	09	01 01 03 04 05	救急業務体制整備事業（常備消防費）
所属長	廣田 哲也		担当者（内線）長嶺 秀則（7147）		
根拠法令等	救急救命士法、救急業務実施基準				
事業開始年度	昭和36年度	直近の改正	平成25年度		
改正内容	救急救命士の処置範囲の拡大があり、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与が追加となった。				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他			
対象	救急業務一般			
目標	メディカルコントロール体制の強化。			
結果	効果的で円滑な救急業務の確立及び救急隊員の応急処置等の質が向上し、救命率を上げることができる。			
事業概要	救急救命士法の改正により、救急救命処置が拡大され、事後検証等、教育を含めたメディカルコントロール体制の充実強化に伴う事業である。			
実施方法	■ 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容		
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,400	3,263	3,352	3,340	3,488
人件費職員数(人)	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	32,680	31,600	32,208	32,208	31,780
総事業費(A+B)	36,080	34,863	35,560	35,548	35,268
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	36,080	34,863	35,560	35,548	35,268
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	36,080	34,863	35,560	35,548	35,268
財源計(C+D)	36,080	34,863	35,560	35,548	35,268

所属	警防救急室
事務事業番号	00807

<活動指標>

		(1) 活動指標①	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	救急出動件数		件	目標値	0.00	0.00	0.00
				実績値	18,306.00	18,653.00	
				達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	1年間の救急出動件数		単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.90	1.91	
				一般財源(千円)	1.90	1.91	
		(1) 活動指標②	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容				目標値	0.00	0.00	0.00
				実績値	0.00	0.00	
				達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
				一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

		(2) 成果指標①	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	救命率(心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1か月後の生存者率)		%	目標値	16.00	16.00	0.00
				実績値	25.90	20.60	
				達成度(%)	161.90	128.80	
目標値の積算方法	過去大阪府の救命率最高値を参考として積算		単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,346.06	1,725.63	
				一般財源(千円)	1,346.06	1,725.63	
		(2) 成果指標②	単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容				目標値	0.00	0.00	0.00
				実績値	0.00	0.00	
				達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
				一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	事業費は、日進月歩で進む救急医療の知識及び技術を習熟するために、様々な教育を受講する必要があるため適切である。 傷病者の救命率の向上の観点から、事後検証等、その他教育を含めたメディカルコントロール体制の充実強化が重要な課題である。

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	救急業務体制整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00807				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	警防救急室	事務事業番号	00807
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は救急隊員の知識・技術の向上を図る生涯教育のための事業であり、今後も継続実施する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時04分22秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001020000	警防救急室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00808	救助活動事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	30	消防							
予算事業	10779	01	09	01	01	03	05	01	救助活動事業（常備消防費）
所属長	廣田 哲也				担当者（内線）田口典生（73417）				
根拠法令等	消防法、消防組織法、救助隊の編成・装備及び配置の基準を定める省令、国際緊急援助隊の派遣に関する法律等								
事業開始年度	昭和53年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	災害、事故及び自然災害などにより救助を必要とする市民等。		
目標	救助を必要とする市民等を安全・確実・迅速に救出する。		
結果	迅速かつ的確な救助活動を行うことにより市民等の安心安全を確保する。		
事業概要	災害現場における要救助者の救出という任務を遂行するため、職員に対し専門的教育及び訓練を継続的に実施し、各種救助資器材の取扱い等の習熟及び高度な救助技術の習得により各種災害や事故等による要救助者を安全、確実、迅速に救出する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,510	1,446	1,597	1,411	2,540
人件費職員数(人)	28.00	27.00	28.00	28.00	27.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	228,760	213,300	225,456	225,456	214,515
総事業費(A+B)	230,270	214,746	227,053	226,867	217,055
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	230,270	214,746	227,053	226,867	217,055
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	230,270	214,746	227,053	226,867	217,055
財源計(C+D)	230,270	214,746	227,053	226,867	217,055

所属	警防救急室
事務事業番号	00808

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	救助出動件数(287件)	目標	市民等を安全、確実、迅速に救出するため、救助体制の充実強化を図る。
成果内容	救出人員数(154人)	達成状況	救助体制の充実強化のため専門的教育及び各種訓練を継続的に実施し、高度な救助技術の習熟を図った。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	本市消防本部は海外で大規模災害が発生した際、人道的及び国際協力の観点から国際緊急援助の一部である国際消防救助隊に発足と同時に登録するとともに、国内での大規模災害に対応する緊急消防援助隊での活動も含め、より高度な知識及び技術を備えた人材の育成のため、事業費は妥当であると考えている。今後も救助体制の充実強化のため本事業を継続していくことが市民等の安心、安全につながると考えている。		

事務事業分析シート

所属名	消防救急室	事業名	救助活動事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00808				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	警防救急室	事務事業番号	00808
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>近年の社会情勢の変化や大規模災害等が発生している中、本市においても、それら災害に迅速に対応するため、本事業を継続的に推進し救助体制の充実強化を図る必要がある。そのためにも救助技術に関する高度な知識、技術を備えた人材の育成及び高度な救助資器材を有効に活用するための教育や訓練を実施し、本事業の十分な事業効果が得られるよう教養、研修内容の見直しが必要であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国においても大規模災害に備え、緊急消防援助隊活動での連携及びそれらの活動に必要な救助資器材の高度化や人材育成に関して整備を進めており、本市においてもさらなる救助体制の充実強化が必要である。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時04分45秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001020000	警防救急室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00809	救助資器材等整備事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	01	安全なまちづくり			
細節	30	消防			
予算事業	10780	01	09	01 01 03 05 02	救助資器材等整備事業（常備消防費）
所属長	廣田 哲也		担当者（内線）田口 典生（73417）		
根拠法令等	救助隊の編成・装備及び配置の基準を定める省令				
事業開始年度	昭和53年	直近の改正			
改正内容					
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	救助隊員の活用する救助活動に必要な資器材等。		
目標	救助資器材の整備、高度化、充実強化。		
結果	救助資器材の整備、高度化、充実強化し、安全、迅速かつ的確な救助活動を行うことにより市民等の安心、安全を確保する。		
事業概要	火災及び各種事故での救助活動時に活用する救助資器材等の更新、整備、また大規模自然災害やNBC災害等の特殊災害事象に対応するための救助資器材等の更新、整備及び充実強化を図る。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,656	3,645	2,622	2,938	2,045
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	19,996	19,445	18,726	19,042	17,935
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	19,996	19,445	18,726	19,042	17,935
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	19,996	19,445	18,726	19,042	17,935
財源計(C+D)	19,996	19,445	18,726	19,042	17,935

所属	警防救急室
事務事業番号	00809

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	救助出動件数(287件)	目標	市民等を安全、確実、迅速に救出するため、救助資器材の整備を推進し救助体制の充実強化を図る。
成果内容	救出人員数(154人)	達成状況	あらゆる災害に対応するため救助資器材を整備し充実強化を図った。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	各種救助資器材等の更新計画に基づき事業費を計上しているため、年度により増加することがあるが、本事業の目標である救助体制の充実強化を図るため、事業費は妥当であると考えている。また、救助資器材等の更新を計画的に行うとともに、あらゆる災害に対応するための救助資器材等を整備し救助体制の充実強化を図り、救助活動事業での取組みと連携して本事業を推進することが市民等の安心、安全につながると考えている。		

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	救助資器材等整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00809				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	95	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	警防救急室	事務事業番号	00809
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>近年の複雑多岐にわたる災害に対し、高度な救助資器材や救助技術を活用し救助時間の短縮や救命率の向上と被害の軽減を推進するため本事業の実施意義はあるものと考えている。また、十分な事業効果が得られるよう年度ごとに更新計画等の見直しが必要であるとする。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国際消防救助隊編成協力市町村に関する基準により、国際消防救助隊は高度救助資器材に精通する必要があるが、また、国や府においても大規模災害時の緊急消防援助隊活動での連携やそれらの活動に必要な救助資器材の高度化や人材育成に関して整備を進めており、本市においてもさらなる救助体制の充実強化が必要である。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時05分20秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001020000	警防救急室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00811	消防車両更新事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	01	安全なまちづくり			
細節	30	消防			
予算事業	10782	01	09	01 03 01 01 01	消防車両更新事業（消防器材整備費）
所属長	廣田 哲也		担当者（内線）		上田 英憲（7-177）
根拠法令等	消防組織法、消防力の整備指針				
事業開始年度	不明	直近の改正	なし		
改正内容	なし				
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	老朽化及び法的規制を受けた消防車両及び救急車		
目標	計画的な更新を実施し、消防力の低下防止を図る。		
結果	時代に即した消防活動を展開するため、消防車・救急車の更新を適切に実施することにより、消防力の充実強化を図り、安心・安全のまちづくりに寄与する。		
事業概要	老朽化及び排ガス規制を受けた車両等を計画的に更新することで、最新の消防車両を導入し消防力の充実を図り、市民の安心・安全に寄与する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
■ その他	内容	緊急消防援助隊設備整備費補助金あり。	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	219,857	216,959	142,447	135,912	112,871
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	228,027	224,859	150,499	143,964	120,816
特定財源(C)	70,818	70,745	23,289	23,296	10,461
国	70,818	70,745	23,289	23,296	10,261
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	200
市負担(D)	157,209	154,114	127,210	120,668	110,355
地方債	125,100	117,700	89,700	80,400	77,100
その他	0	0	0	0	0
一般財源	32,109	36,414	37,510	40,268	33,255
財源計(C+D)	228,027	224,859	150,499	143,964	120,816

所属	警防救急室
事務事業番号	00811

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	消防車両更新台数	台	目標値	4.00	7.00	5.00
			実績値	4.00	7.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	更新計画に基づく車両更新	単位当たりコスト	総事業費(千円)	56,214.75	20,566.29	
			一般財源(千円)	9,103.50	5,752.57	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
救急支援車、西広報車、南ST1、千里救急車、東救急車2、北査察車、千一分団ポンプ車を更新した。	達成状況 更新予定通り更新を完了したが、耐用年数が過ぎた車両がある。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>計画的な車両更新を図るとともに、耐用年数を経過した車両を更新整備する必要がある。財政状況に応じて更新計画どおりに進んでいない車両があり、走行距離以上に数値で表れない部分で車両を酷使しており、緊急自動車の特長から生じる機能低下防止対策が課題であるため事業費は増額を検討する必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	消防車両更新事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00811				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	90	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	警防救急室	事務事業番号	00811
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>妥当性 20 15 10 5 0</p> <p>持続可能性 有効性 効率性 公平性</p>		
(3)現状分析	財政状況に応じて、計画に変更が生じるため更新できていない車両がある。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時06分14秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001020000	警防救急室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00812	防火水槽整備事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	30	消防							
予算事業	10790	01	09	01	04	01	01	07	防火水槽整備事業（災害対策費）
所属長	廣田 哲也				担当者（内線）森田 友樹（7-127）				
根拠法令等	消防法、消防水利の基準								
事業開始年度	昭和56年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ● 建設事業 ○ その他		
対象	防火水槽の不足地域		
目標	耐震性防火水槽の設置		
結果	大規模災害時における水道断水（消火栓が使用不能）時の消防水利の確保		
事業概要	震災時や水道断水時における消防水利を確保するため、災害時の活動拠点となる公共施設等に耐震性防火水槽を整備し、地域の実情とニーズにも対応した消防水利の適正な配置を図る。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	□ 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
■ その他	内容	社会資本整備総合交付金あり	

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	24,466	19,494	26,570	16,730	24,928
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	32,636	27,394	34,622	24,782	32,873
特定財源(C)	6,700	6,700	6,700	6,700	2,700
国	6,700	6,700	6,700	6,700	2,700
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	25,936	20,694	27,922	18,082	30,173
地方債	13,900	9,300	15,400	8,900	17,900
その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,036	11,394	12,522	9,182	12,273
財源計(C+D)	32,636	27,394	34,622	24,782	32,873

所属	警防救急室
事務事業番号	00812

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	公設耐震性防火水槽の設置数	基	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	毎年1基	単位当たりコスト	総事業費(千円)	27,394.00	24,782.00	
			一般財源(千円)	11,394.00	9,182.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市域を280メッシュで区切った全531区画の内、市域境界等の整備対象外区画を除く区画に消火栓以外の消防水利を設置する。	区画	目標値	505.00	507.00	507.00
			実績値	483.00	484.00	
			達成度(%)	95.60	95.50	
目標値の積算方法	消火栓以外の消防水利を必要とする全区画	単位当たりコスト	総事業費(千円)	56.72	51.20	
			一般財源(千円)	23.59	18.97	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示するのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	大規模な震災が発生した場合、水道管の破損等により消火栓が使用できなくなってしまう可能性が高いため、市域を280mのメッシュで区切った区画全てに消火栓以外の消防水利(耐震性防火水槽)を整備し、消防水利を確保することは安全なまちづくりに直結するもので平成29年度に計画を見直し目標値を507区画とした。平成29年度は山田東2丁目の山田公園の設置を完了し、平成30年度は高野台3丁目のめじろ遊園を計画している。今後も未整備区画を中心に整備を進めていく上で妥当な事業費である。

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	防火水槽整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00812				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	96	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	警防救急室	事務事業番号	00812
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>設置には一定の公共的スペースを必要としており、設置場所の確保及び設置方法を検討し、計画に反映している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時06分38秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001020000	警防救急室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00813	可搬式小型動力ポンプ整備事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	01	安全なまちづくり							
細節	30	消防							
予算事業	10798	01	09	01	04	01	02	08	可搬式小型動力ポンプ整備事業（災害対策費）
所属長	廣田 哲也				担当者（内線）森田 友樹（7-127）				
根拠法令等	消防法、消防水利の基準								
事業開始年度	平成8年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	地域住民で構成される自主消火組織		
目標	震災時等における地域住民による消火活動体制の整備		
結果	地域防災力の向上		
事業概要	震災等における大規模災害時の同時多発火災に対応するとともに、消防力の不足を補うため、可搬式小型動力ポンプ及びポンプ格納庫を整備し、さらに自主消火組織を育成することにより、地域防災体制の向上を図り、市民参加による災害に強い安全なまちづくりを進める。		
実施方法	■ 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
■ その他	内容	大阪国際空港周辺対策基金助成あり	

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,343	1,186	1,433	1,418	1,643
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	9,513	9,086	9,485	9,470	9,588
特定財源(C)	895	895	900	900	900
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	895	895	900	900	900
市負担(D)	8,618	8,191	8,585	8,570	8,688
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,618	8,191	8,585	8,570	8,688
財源計(C+D)	9,513	9,086	9,485	9,470	9,588

所属	警防救急室
事務事業番号	00813

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	可搬式小型動力ポンプ設置台数	台	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	各年度1台	単位当たりコスト	総事業費(千円)	9,086.00	9,470.00	
			一般財源(千円)	8,191.00	8,570.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	自主消火組織の結成数	地域	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	0.00	
			達成度(%)	100.00	0.00	
目標値の積算方法	各年度1地域	単位当たりコスト	総事業費(千円)	9,086.00	0.00	
			一般財源(千円)	8,191.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示するのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>可搬式小型動力ポンプを設置するとともに、自主消火組織の育成を行っていることから、大規模災害時の備えや、火災発生時の消火体制が充実し、安全なまちづくりに直結するため事業費は妥当である。</p> <p>今年度は既に結成されている自主消火組織に増台したため、結成数にあっては増えていない状況である。</p> <p>今後も大規模災害時の消防力の不足を補うことを目的に、可搬式小型動力ポンプの整備事業を自主消火組織の育成強化と併せて市民参加による災害に強いまちづくりを進めるためにも継続していく必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	警防救急室	事業名	可搬式小型動力ポンプ整備事業	事業区分	その他
事務事業番号	00813				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団休(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点

所属名	警防救急室	事務事業番号	00813
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>建物倒壊や延焼拡大危険の高い地域を優先的に配備するとともに、市内において均等な配備となるよう計画の改善・見直しを進めている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
17時07分52秒作成

評価年度	平成29年度	所属	2001020000	警防救急室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01328	自衛消防組織の育成強化事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	01	安全なまちづくり		
細節	30	消防		
予算事業				
所属長	廣田 哲也	担当者（内線）森田 友樹（7-127）		
根拠法令等	なし			
事業開始年度	不明	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	消防ポンプ等の消火用資機材を有する工場・事業所		
目標	工場や事業所等で組織する自衛消防隊の強化		
結果	工場・事業所の自衛消防力の充実		
事業概要	消防ポンプなどの消火用資機材を有する工場・事業所の自衛消防隊に対し、育成強化を図るため、各種研修会の参加を呼びかけるとともに、装備の充実・強化を指導し、訓練等の実施を推進する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	警防救急室
事務事業番号	01328

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	消火用資機材を有する工場・事業所における訓練回数	回	目標値	22.00	22.00	22.00
			実績値	11.00	11.00	
			達成度(%)	50.00	50.00	
目標値の積算方法	各工場・事業所 年2回の訓練実施	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	自衛消防隊を有する工場・事業所における火災件数(暦年にて算出)	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	1.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	自衛消防隊を有する工場・事業所における火災件数の合計(暦年にて算出)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示するのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	コストは発生していないため単位あたりのコストは算定できないが工場・事業所の自衛消防力充実のため実施している事業であり、訓練指導等の機会を中心に行っており、今後も継続して行う必要がある。

事務事業分析シート

2018/6/817:20

所属名	警防救急室	事業名	自衛消防組織の育成強化事業	事業区分	その他
事務事業番号	01328				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	警防救急室	事務事業番号	01328
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	事業所に対して、訓練指導や消防行事への参加を促すことにより訓練の実施を促進する。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)